# *製品安全データシート*

## *アセトン*

*版 1.00* *改訂日 07.09.2009*

## *1. 化学物質等および会社情報*

| | |
|---|---|
| ***商品名*** | *アセトン* |
| ***別名*** | *Acetone, 2-propanone, Dimethyl ketone, Ketone propane, beta-Ketapropanone* |
| ***製品コード*** | *2110* |
| ***使用*** | *溶媒, クリーニングおよび消毒剤の原料,*<br>*洗浄およびクリーニング剤の原料, 化粧品の原料,*<br>*印刷インクおよび印刷インク添加剤の原料,*<br>*接着剤およびバインダーの原料,*<br>*溶接およびはんだ助剤の原料, 塗料関連の原料* |
| ***会社*** | *サソールケミカルズジャパン株式会社*<br>*東京都中央区明石町８番１号*<br>*聖路加タワー３５階* |
| ***情報（製品安全 ）*** | ***電話番号:*** *+81 (0)3 3248 3821* ***ファックス:*** *+81 (0)3 3248 9007* |
| ***緊急電話番号*** | *欧州、イスラエル、アフリカ、米国* *+44 (0)208 762 8322*<br>*中東、アラブ系アフリカ諸国* *+961 3 487 287*<br>*アジア太平洋* *+65 633 44 177*<br>*中国* *+86 10 5100 3039*<br>*南アフリカ* *+27 (0)17 610 4444* |

## 2.危険有害性の要約

GHS-分類

| | |
|---|---|
| **注意喚起語** | 危険 |
| **危険有害性クラス** | 吸引性呼吸器有害性 区分2<br>眼に対する重篤な損傷/刺激性 区分2B<br>区分2<br>引火性液体 |
| **危険有害性情報** | H225: 引火性の高い液体および蒸気<br>H320: 眼刺激<br>H361:<br>皮膚に接触すると生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い。<br>H335: 呼吸器への刺激のおそれ<br>H336: 眠気やめまいのおそれ<br>H305: 飲み込んで気道に侵入すると有害のおそれ |
| **ばく露防止** | P210:<br>熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。－禁煙<br>P233: 容器を密閉しておくこと。<br>P240: 容器を接地すること/アースをとること。<br>P242: 火花を発生させない工具を使用すること。<br>P243: 静電気放電に対する予防措置を講ずること。<br>P280: 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。<br>P201: 使用前に取扱説明書を入手すること。<br>P202: 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。<br>P261:<br>粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること |

| | |
|---|---|
| | P271: 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。<br>P281: 指定された個人用保護具を使用すること。<br>P260:<br>粉じん／ヒューム／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。<br>P241: 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/.<br>機器を使用すること。 |
| **措置** | P303 + P361 + P353:<br>皮膚（または髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと/取り除くこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。<br>P370 + P380: 火災の場合：区域より退避させること。<br>P305 + P351 + P338:<br>眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。<br>P337 + P313:<br>眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。<br>P308 + P313:<br>暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。<br>P304 + P340:<br>吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。<br>P312: 気分が悪い時は医師に連絡すること。<br>P314: 気分が悪い時は、医師の診断 /手当てを受けること。<br>P301 + P310: 飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。<br>P331: 無理に吐かせないこと。 |
| **保管** | P403 + P235:<br>換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。<br>P405: 施錠して保管すること。<br>P403 + P233:<br>換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。 |
| **廃棄上の注意** | 内容物／容器の廃棄は地域の規則に従い行うこと。 |

## 3. 組成、成分情報

Acetone
**内容物:** 100.00 %W/W

**CAS番号** 67-64-1 **索引番号** 606-001-00-8 **EC番号** 200-662-2
**記号** F, Xi **R - 警句** -R11 -R36 -R66 -R67

このセクションで言及されたR警告の完全テキストは、セクション16を参照。

## 4. 応急措置

**一般的アドバイス** 症状が長引く場合、または疑問がある場合は、医師の指示を受ける。

**吸入した場合** 蒸気を誤って吸入した場合は、新鮮な空気のある場所に移す。
呼吸が不規則であったりとまったりした場合は、人工呼吸を行う。 直ちに医師を呼ぶ。

**皮膚に付着した場合** 汚染された衣服と靴を脱いで、直ちに石けんと多量の水で洗浄する。 汚染された衣服は再使用する前に洗濯すること。
皮膚の炎症が継続する場合は、医師に連絡すること。

**目に入った場合** 多量の水で15分以上よく洗浄し、医師の診察を受けること。

**飲み込んだ場合** 飲み込んだ場合は、直ちに医師の診察を受け、この容器ないしラベルを見せること。 医師の指示がない場合は吐かせない。
意識のない人には、絶対に、口から何も与えてはいけない。

## 5. 火災時の措置

**適切な消火剤** 水スプレー, 耐アルコール泡消火剤, 粉末消火剤, 二酸化炭素(CO2)

**使ってはならない消火剤** 情報なし。

**火災時の特定有害危険性** かなりの距離にわたり逆火が考えられる。

**消火を行う者の保護** 自給式呼吸装置と保護服を着用する。

**詳しい情報** 散水して容器/タンクを冷却する。

## 6. 漏出時の措置

**人体に対する予防措置** こぼれやもれが起きている場所から関係者以外を遠ざけ、風上に避難させる。
付近の発火源となるものを速やかに取り除く。
蒸気やスプレー煙霧を吸い込まない。

**環境に対する予防措置** 環境中に放出してはならない。

安全を確認してから、もれやこぼれを止める。

**除去方法** 不活性の吸収材に吸収させ、有害な廃棄物として処分する。

## 7. 取扱いおよび保管上の注意

**取扱い**

**取り扱い** 作業室の換気や排気を十分に行う。 保護具を着用する。
静電気放電に対する予防措置を講ずること。
移し変え作業を始める前に、全ての装置がアースしていることを確認する。

**火災および爆発防護に関するアドバイス** 熱や発火源から遠ざける。 防爆型の機器を使用すること。

**保管**

**保管場所および容器の必要条件** 乾燥した、涼しい、換気の良い場所で、容器の栓をしっかり閉めて保管する。

## 8. 暴露防止および保護措置

**仕事場管理パラメーター付き構成要素**

**国家職業暴露リミット値**

**欧州職業暴露リミット値**

| 成分及び含有量 | タイプ | 管理パラメーター | 更新 | 基準 |
|---|---|---|---|---|
| ACETONE | TLV<br>TWA<br>TWA | 500 ppm<br>470 mg/m3<br>200 ppm | 08 2006<br>04 2007<br>04 2007 | JPISHL OEL<br>JPJSOH OEL<br>JPJSOH OEL |

**設備対策**

作業室の換気や排気を十分に行う。

**保護具**

**呼吸器の保護** 通気が不十分な場合は、適切な呼吸装置を着用すること。

**手の保護具** 長期の接触に適した手袋:
材質: ブチルゴム

| | |
|---|---|
| | 破過時間: 4 h<br>物質の厚さ: 0.5 mm<br>不適切な手袋<br>材質: ポリ塩化ビニル, 革,<br>ニトリルゴム/ニトリルラテックス,<br>天然ゴム/天然ラテックス |
| **目の保護具** | サイドシールド付き安全眼鏡 |
| **皮膚及び身体の保護具** | 保護服, 安全靴 |
| **適切な衛生対策** | 休憩前や製品取扱い直後には手を洗う。 |
| **保護措置** | 適切な保護具を着用すること。 |

## 9. 物理的および化学的性質

| | |
|---|---|
| **形状** | 液体 |
| **色** | 無色 |
| **臭い** | 刺激臭 |
| **融点/範囲** | -95.35 ° C |
| **沸点/沸点範囲** | 56.2 ° C |
| **引火点** | -20 ° C |
| **自然発火温度** | 465 ° C |
| **爆発範囲 下限** | 2.6 %(V) |
| **爆発範囲 上限** | 12.8 %(V) |
| **蒸気圧** | 307.974 hPa; 25 ° C |
| **密度** | 0.79 g/cm3 |
| **水溶性** | 可溶 |
| **動粘度** | 0.4 mm2/s |
| **蒸気密度** | 2 |

## 10. 安定性および反応性

| | |
|---|---|
| **混触危険物質** | 強酸化剤, 酸に配合禁忌。, ハロゲン化物 |
| **危険有害性のある分解生成物** | 炭素酸化物 |
| **反応性** | 危険な重合はおこらない。 |

## 11. 有害性情報

| | |
|---|---|
| **急性経口毒性** | LD50 ラット: 5,800 mg/kg; 文献記載値 |
| **急性吸入毒性** | LC50 ラット: > 20 mg/l; ; 4 h; 文献記載値 |
| **急性経皮毒性** | LD50 ウサギ: 20,000 mg/kg; 文献記載値 |
| **皮膚への刺激** | ウサギ: 中度に刺激性;（文献値） |
| **目への刺激** | ウサギ: 刺激性;（文献値） |
| | ウサギ: 中度に刺激性; ドレイズ試験 |

## 12. 環境影響情報

| | |
|---|---|
| **生分解性** | 100 %; 5 d |
| | 89 %; 21 d |
| **生体蓄積性** | 1 |
| **生態毒性** | |
| **魚毒性** | LC50 Oncorhynchus mykiss（ニジマス): 5,540 mg/l; 96 h; 文献記載値 |
| | LC50 Lepomis macrochirus（ブルーギル サンフィッシュ): 8,300 mg/l; 96 h; 文献記載値 |
| | LC50 ファットヘッドミノー: 8,120 mg/l; 96 h; 文献記載値 |
| **ミジンコ他の水生無脊椎動物に対する毒性。** | EC50 オオミジンコ: 10 mg/l; 24 h |
| **藻類に有毒** | EC50 Pseudokirchneriella subcapitata: > 100 mg/l; 96 h; 文献記載値 |

## 13. 廃棄上の注意

| | |
|---|---|
| **製品** | 関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。,<br>薬剤または使用済み容器で池、水路、溝を汚染しないこと。,<br>本製品を排水溝、水路、地面に流さないこと。 |
| **汚染した包装** | 空のドラムを燃したり、切断トーチを使用しないでください。<br>, 容器は3回すすぐ。,<br>リサイクル、再生、または穴あけのために使用可能です。 |

## 14. 輸送上の注意

| | |
|---|---|
| ***ADR*** | *国連番号: 1090; クラス: 3; 容器等級: II; F1; 商品の記述: ACETONE* |
| ***RID*** | *国連番号: 1090; クラス: 3; 容器等級: II; F1; 商品の記述: ACETONE* |
| ***ADNR*** | *国連番号: 1090; クラス: 3; 容器等級: II; F1; 商品の記述: ACETONE* |
| ***IMDG*** | *国連番号: 1090; クラス: 3; EmS: F-E, S-D; 容器等級: II; 商品の記述: ACETONE* |
| ***ICAO/IATA*** | *国連番号 : 1090; クラス: 3; 容器等級: II; 商品の記述: Acetone* |

## *15. 適用法令*

| | |
|---|---|
| ***規制の根拠*** | *GHS 分類対象物質* |

## *16. その他の情報*

本MSDSはISO11014 および
ANSIZ400.1.1993に従い適切な対応の元に作成されています。本MSDSは製品を安全にご使用、お取り扱いいただくために、発行時点における健康、安全および環境への危険有害性について情報提供するものです。Sasolおよびその子会社は製品が受領、取り扱い、使用される全ての条件を予見、またはコントロールしている訳ではありませんが、受領、取り扱い、使用の際は事前に本MSDSを熟読してください。受領、取り扱い、使用の際は健康および安全に対する必要な対策を実施してください。これは必要であり実施が要求されるすべての関連リスクアセスメントの代わりとなるもではありません。本情報を製品の受領、使用、取り扱いに携わるすべての人に伝えるようにしてください。

本MSDSの編集に際してあらゆる適切な努力が傾注されたが、Sasolは記載された内容の正確さを保障するものではなく、本情報また提供するアドバイスの不完全さに対して責任を負うものではありません。
製品は販売されたものであり、それぞれの販売条件従ってリスクは移転いたします。

*The MSDS was created by: Motlatsi(MS)*
*The MSDS was approved by: H. Tanabe*